



平成26年  
11月16日

第4回大分県身体障害者福祉センター

# ふれあいフェスタ

今年も日頃利用されている方のほか、地域の方々がお見えになり、様々な催しを楽しんでいただきました。

**講演会**  
**「生かされて今、輝く命」**

全国各地で講演活動をされている、又野亜希子さんによる講演会。10年前の交通事故、リハビリでの仲間との出会い、出産、子育てなどで自身の体験談で勇気と感動をいただきました。



**ミュージック  
パフォーマンス**

こうべえ & 空間ペインターが30分間のギター演奏とあわせて絵を描きあげ、びっくり!!



スペシャル・オリンピックス日本・大分によるもちつきは活気がありました。



食事コーナーで、豚汁などを食べながら休憩をする来場者のみなさん。

**オープニング**

「ぶんご小潮太鼓(こちょうたいこ)」による迫力ある太鼓演奏でスタート!



朝市おおつも1階ロビーで開催しました。

## 障がい者の就労支援に向けて

「就労支援事業所」と「生協コープおおいた」との業務提携式が行われる



平成26年10月20日、県総合社会福祉会館において、障がい者就労支援事業所「社会福祉法人別府若葉会(理事長 舛田敬行氏)」と「生活協同組合コープおおいた(理事長 青木博範氏)」による共同受注拡大に向けての業務提携式が行われました。

この提携式は、社会福祉法人若葉会が運営する「指定障害福祉サービス事業所メロディー(就労継続支援B型事業所)」がコープおおいたの県内7店舗のショッピングかごやカートの洗浄作業を受託して行うものであり、大分県社会福祉協議会(会長 高橋勉)が仲介して行われたものです。

障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を送るために

は、能力や適正に応じて就労し、経済的な基盤を確立することが重要です。

今、県内の福祉的就労の場である「就労継続支援B型事業所」(以下、事業所)においては、利用者の工賃向上に向けて様々な努力がなされているところですが、通年で定量の業務が見込めるこの業務は、障がい者の安定した収入の確保が期待できる画期的な取り組みとして評価されるものです。

舛田理事長は、「今後この事業をさらに拡張し、県内の事業所間が連携して行う「共同受注」に広がっていくとともに、この取り組みを機に、障がい者の「就労訓練」から障がい者の「雇用」へ発展できる」と展望を語られていました。



## 地域の命と暮らしを守るために

「避難行動計画作成マニュアル」が完成しました

東日本大震災から3年が経過しました。この震災では、高齢者や障がい者の死亡率が高く、消防団や民生委員など支援者の多くも犠牲になりました。30年以内に70%の確率で起こるとされている「南海トラフ巨大地震」や、その他の災害に備え「地域の人の命も暮らしも守る」ためには、日頃からの地域住民同士の支えあい・助け合いをベースにした、地域にお住まいの方々を中心とした取組を推進することが重要です。

このマニュアルは、災害時に「一人も見逃さないように」するためには、どう準備し支援していくか、あらかじめ地域での災害に応じた色々な約束を決めておけるよう、基本的な知識や手法についてまとめています。



ステップごとに、写真や図を添えて説明しています

マニュアルは大分県庁HP(ホームページ)で公開しています

防災安全安心情報  
東日本大震災に関する情報はこちら  
↑トップページからこのボタンをクリック

URL [www.pref.oita.jp/soshiki/12030/saigaijiyousiensyahinankoudouyousiensyataisaku.html](http://www.pref.oita.jp/soshiki/12030/saigaijiyousiensyahinankoudouyousiensyataisaku.html)

「地域の防災」の項目の中にある「災害時要援護者、避難行動要支援者」をクリック